

町内保育所 年長児対象

えほんをつくらってみよう
 野坂勇作さん
 手づくりえほん講座



町内保育所の年長児クラスを対象とした手づくり絵本講座「えほんをつくらってみよう」を、米子市在住の絵本作家、野坂勇作さんの指導で、大山地区は8月29日(月)に、名和地区は9月2日(金)に、

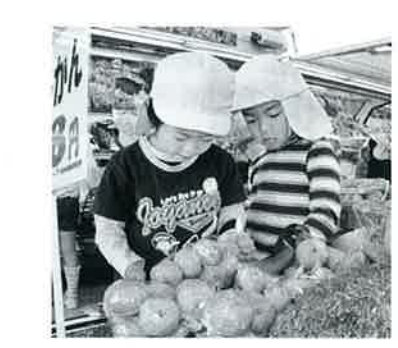
中山地区は11月14日(月)にそれぞれ行いました。はじめに「めのまどあけろ」の手遊びをして、子どもたちの気持ちと手をほぐしてから絵本づくりが始まりました。

野坂さんの指導でいろいろな言葉から連想されるものを、子どもたちが次々と絵本の台紙に描いていきます。発想力豊かな子どもたちは大人では思いもつかないものを描き、感心する場面もしばしば。できあがった作品を野坂さんは製本をしながら、子どもたち一人ひとりに声をかけてくださいました。

導を受ける機会はめったにならないうことで、貴重な体験ができました。子どもたちが、この体験を活かして、本物を見る

また、中山地区での様子は、大山チャネルの12月②号で放映する予定です。お楽しみ！

目や、創造力・発想力を伸ばし、郷土愛を育んでほしいものです。
 今回製作した作品は、1月29日(日)に保健福祉センターなわで行われる、生涯学習大会で展示します。



▲どれがおいしいかな？(前日のお買い物)



▲えほんができたよ！(高麗「コミュニケーション」ターで)

そして最後に「この本は世界に一冊の本です。家の人と一緒に見てください。また、みんなが大人になってから自分の子どもにも読んであげてください」と話されました。絵本作家に子どもたちが指

11月10日(木)には、秋の

児が野菜を包丁で切り、年中

大地の恵みを受けて、心も

秋の収穫祭
 おいしく、楽しく、
 秋を感じて

～御来屋保育所～



▲調理師の説明を聞く子どもたち

この日のメニューは「秋の実り汁」のほか、「ブロッコリーの和え物」、「おにぎり」、「みかん」。おにぎりは、年中児と年少児が作りました。

すべてのメニューが出来上がると、子どもたちは異年齢のグループに分かれて給食を食べる部屋を決め、普段とは違った雰囲気の中で、収穫に感謝しながらおいしいごちそうをいただきました。

当日は、子どもたちの年齢に合わせて作業を分担。年長

児が野菜を包丁で切り、年中

大地の恵みを受けて、心も

体も大満足のひとときでした。